

算数科学習指導案

相模原市立相模台小学校
指導者 ○○ ○○

1 日時 令和3年9月14日(火)5校時 13:50～14:35

2 場所 第3学年2組教室(A校舎2階)

3 学年・学級 第3学年2組 30名

4 単元名 「9 あまりのあるわり算」(5/7時間)

5 本時の授業計画

(1) 本時の目標

あまりの処理の必要な問題場面で、あまりの処理の仕方を考え、説明している。〔思考力・判断力・表現力等〕

(2) 本時の流れ

	学習活動と内容	指導上の留意点	【評価の観点】 〈評価の方法〉
導入 (10分)	<p>0. 計算3分チャレンジに取り組む。 1. 前時までの振り返りを行う。 2. 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クラス33人分の名札入れを作ります。1列5人分の名札入れを作ると、何列いりますか。</p> </div> <p>問題を読み、場面を捉えて立式する。 $33 \div 5 = 6$あまり3</p>	<p>○問題の場面がイメージできるように、絵と具体物を提示する。</p> <p>○課題を理解できるように、板書した問題文を全体で読み、ポイントに色をつける。</p>	
展開 (25分)	<div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あまりをどうすればよいか考えよう。</p> </div> <p>3. 既習事項を生かして、自力解決する。 ・式や言葉、図を書いて場面を表現する。(ノート)</p> <p>4. 自分の考えを発表し、友だちの考えと比べ話し合う。(グループワーク→全体)</p> <p>・自分の意見を友達にわかりやすく伝えられるように、図で表したりしながら、式の表す内容を自分なりの言葉で説明する。 ・話し合った内容をホワイトボードにまとめていく。</p>	<p>○本時の課題に気づくように、余りのある割り算なのに、余りがいくつか問われていないという前時との違いを確認する。</p> <p>○考えの持てない児童には、答えのイメージをもてるように、算数ブロックや図を利用させる。</p> <p>○友だちの考えを認め、自分の考えをわかりやすく伝えられるように指導する。</p>	<p>【思】 あまりの処理が必要な問題場面で、あまりの処理の仕方を考え、説明している。 〈ノート、観察〉</p>

まとめ (10分)	5. 適用問題 ・教科書P.132 ㊦1、㊦2 6. 本時の振り返りと次時の課題を知る。	○振り返りが次時に生きるように、 ノートに書かせる。	
--------------	--	-------------------------------	--